

公益財団法人 綿貫国際奨学財団 奨学金申込書並びに奨学生推薦書

平成

1. 姓 名

母国語による姓名 _____
(漢 字 名) ()

カタカナ読み _____

英 語 表 記 _____

2. 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (来年3月31日現在) 男 女
(以下、すべて西暦で記入)

3. 国 籍 _____ (日本への最初の入国年月: _____ 年 _____ 月)

4. 健康状態

現在 良好 普通 やや不安 既往症

5. 現住所 〒() _____ (寮、アパート、下宿名記入)

自宅電話 () _____ - _____ (直通・呼出) FAX有

E-mailアドレス _____

学内連絡先 _____ 電話 () _____ - _____ (内線 _____)

配偶者名 _____ 別居の場合は電話番号 () _____ - _____

6. 母国住所 (英語表記)

電話 _____

7. 現在の在籍大学 (入学年月 _____ 年 _____ 月)

大学	学部	学科	年次

- 研究生
- 修士 博士前期
- 専攻 博士 博士後期

指導教官名 (大学院のみ) _____ 指導教官の学内電話番号 () _____ - _____ (内線 _____)

8. 来年4月からの在籍予定大学及び年次

大学	研究科	専攻	年次

- 修士 博士前期
- 博士 博士後期

上級課程進学の場合 合格済 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)
合格予定 (_____ 年 _____ 月頃)

写真貼付
(5cm×3.5cm)
6カ月以内撮影の
上半身正面向。

不要

9. 学 歴 (課程欄を○印で囲む)

教育機関の 種 類	学校名及び所在地	正 規 の 修 学 年 数	入 学 及 び 卒 業 年 月	専 攻 科 目	取 得 し た 学 位 或 い は 資 格
高 校	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
大 学	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
大 学 院 (修士・研究)	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
大 学 院 (博士・修士 研究)	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
()	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
そ の 他 (日本語学 校等)	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
日 本 語 能 力 試 験			年 月 取得		級

10. 職 歴 (兵役については、勤務期間のみ記載すること)

勤 務 先 及 び 所 在 地	勤 務 期 間	役 職 名	職 務 内 容
	年 月 から 年 月 まで		
	年 月 から 年 月 まで		
	年 月 から 年 月 まで		
	年 月 から 年 月 まで		

11. 日本の教育機関において、これから取得しようとする学歴計画

(上級課程に進学を予定している者は、必ず記入すること。)

① 進 学 希 望	a. 博士前期 (修士) b. 博士後期 (博士) c. 博士 (医・歯)
② 博 士 号 の 取 得 希 望	有・無・未定 年 月 取得予定
③ 帰 国 予 定	年 月 頃

12. (1)日本留学後の仕事または職場の予定 (希望でも可)

12. (2)母国への具体的な貢献策について (必ず記入)

13. 経済状況 (今年4月～9月について)

①1ヵ月の平均収入額

仕送り額	月額	万	千円	(仕送り元 _____)
奨学金	月額	万	千円	(奨学金の名称 _____ 受給期間 _____年 月～ _____年 月)
他からの援助	月額	万	千円	(援助者との関係 _____)
配偶者の収入	月額	万	千円	(収入の内容 _____)
アルバイト収入	月額	万	千円	(アルバイトの内容 _____)
合計		万	千円	

②今年度の授業料年額 _____万 千円 (そのうち、前期の免除額 _____万 千円)

③来年度入学金の予定額 (上級課程進学者のみ) _____万 千円

④家賃月額 (アパート・寮・下宿・その他) _____万 千円

14. 他の奨学団体 (文部省等) への来年度奨学金の応募予定 (当財団に採用されなかった場合も含む)

団体名 1. _____ 2. _____ 3. _____

15. 過去に受けた奨学金の名称及び期間

名称 _____ 年 月～ _____年 月
 名称 _____ 年 月～ _____年 月
 名称 _____ 年 月～ _____年 月

16. 家庭状況 (既婚の兄弟姉妹も含め、家族全員を記載すること。退職・死亡した場合は、元勤務先)

家族氏名	続柄	年齢	現住所	勤務先又は学校名	備考
	父 母				
	兄・弟 姉・妹				
	配偶者 子供				

指導教官からの推薦状

(指導教官へのお願い：親展書封印の上、被推薦者にお手渡し願います。)

以上 本人記入 ↑	(被推薦者氏名)	(国籍)	(生年月日) 西暦 年 月 日生	男・女		
	(住所)					
	(来年度4月以降、在籍予定の大学)					
↓ 以下 指導教官 にご執筆 願います。	大学		研究科		専攻	
	<input type="checkbox"/> 修士		<input type="checkbox"/> 博士前期		<input type="checkbox"/> 博士	
	<input type="checkbox"/> 博士後期		年次			
	指導 教官	所属	_____			
		職名	_____			
		氏名	_____ ㊦ _____			
	(研究内容についてご説明下さい)					

	(研究・学業成績等について)					
(1) 優れている点						

(2) 多少劣る点・課題等						

(本人の性格等について)						

(推薦の理由)						

大学院博士課程（後期課程）在籍学生の博士の学位取得見込の可能性について						
有 ・ 無 西暦 年 月頃取得見込						

17. 日本人の知人・友人（緊急連絡先）

(1) 氏 名 _____ 印

(2) 住 所（〒 - ）

電話番号（ ） -

(3) 職 業 _____ (4) 本人との続柄 _____

公益財団法人 綿貫国際奨学財団
御 中

私は、募集要項に記載された内容を理解し、貴奨学生として採用していただきたく、申請いたします。
申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、貴会の奨学金の支給を取りやめられても、不服を申し立てません。

申請年月日 _____ 年 月 日

申請者署名 _____

申請者を貴財団の奨学生として採用していただくよう推薦いたします。
採用の可否決定については貴財団の選考結果に異議を申しません。

記入不要

推薦大学所轄部名

内容についての
問い合わせ先

担 当 者 名

電 話 番 号 （ ） - （内線 ）

F A X 番 号 （ ） -

研究状況報告書

氏名 _____

① 研究の目的

② 研究の成果・効果等

(研究成果を応用してどのようなものになるのか、何に利用できるのか)

学内選考後に記入・親展書封印の上提出願います。

指導教官からの推薦状

(指導教官へのお願い：親展書封印の上、被推薦者にお手渡し願います。)

以上 本人記入 ↑	(被推薦者氏名)		(国籍)	(生年月日)			男・女	
				西暦	年	月		日生
	(住所)							
(来年度4月以降、在籍予定の大学)								
		大学	研究科		専攻			
		<input type="checkbox"/> 修士	<input type="checkbox"/> 博士前期	<input type="checkbox"/> 博士	<input type="checkbox"/> 博士後期	年次		
↓ 以下 指導教官 にご執筆 願います。	指導 教官	所属	_____					
		職名	_____					
		氏名	_____					Ⓔ
			推薦日	年	月	日		
	(研究内容についてご説明下さい)							

	(研究・学業成績等について)							
	(1) 優れている点							

(2) 多少劣る点・課題等								

(本人の性格等について)								

(推薦の理由)								

大学院博士課程(後期課程)在籍学生の博士の学位取得見込の可能性について								
		有・無	西暦	年	月頃	取得見込		

